

令和2年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和元年度実績に基づく評価）

作成日 令和 2 年 7 月 3 日

政策体系	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	施策主管課長	観光立市推進課
	政策名	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		
	施策名	2	魅力ある観光資源の開発と整備		
施策関係課	都市ブランド推進課、市民活動促進課、市民生活課、産業立市推進課、農政課、農山村振興課、文化立市推進課、スポーツ立市推進課、文化財課				高橋 利彰

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	R3	成果指標設定の考え方	
	①観光資源（観光スポット、自然、特産品、観光企画商品） ②「町会のお宝・自慢」 ③観光施設	①観光スポット数 ②「町会のお宝・自慢」の数 ③市有観光施設数 ④	箇所	箇所	箇所							
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）				区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法
	①②観光資源を発掘し、観光資源の整備を進める。 ③時代のニーズに合った適切な維持管理ができる。	①開発・整備した観光資源数 ②観光施設等改修箇所数 ③ ④ ⑤	目標 実績	目標 実績	目標 実績							

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
新しい観光資源の開発と整備	①観光資源	観光資源として整備されている。	①開発・整備した観光資源数（観光ルート除く）	目標 実績	箇所	3 1	2 0	3 0	2 1	宿泊、体験型観光の推進	①国内に居住する人 ②アジアの観光客	本市で宿泊・体験してもらう。	①宿泊施設を改修した箇所数	目標 実績	箇所	5 26	5 18	5 14,100	5 8,295
			②開発・整備した観光ルート	目標 実績	ルート	0 1	1 3	0 0	1 1				②体験型宿泊施設の宿泊者数	目標 実績	人	14,100 9,182	14,100 8,295	14,100 14,100	14,100 14,100
			③	目標 実績									③体験メニュー数	目標 実績	個	38 36	39 34	40 41	41 41
利便性の高い観光施設の整備・維持管理	①観光施設	安全な利用が可能になっている。	①案内看板改修整備数	目標 実績	箇所	1 5	1 9	1 1	1 1				④宿泊施設利用者の満足度	目標 実績	%	76.0 76.6	77.0 87.5	78.0 78.0	79.0 79.0
			②国際化対応看板設置率	目標 実績	%	20.0 3.2	26.7 5.3	33.3 33.3	40.0 40.0				①	目標 実績					
			③	目標 実績									②	目標 実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和元年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況			
	取組方針	成果指標	達成状況	備考	取組方針	成果指標	達成状況	備考
基本事業	新しい観光資源の開発と整備	・スポーツ、産業及び文化分野との連携も考慮した体験メニューの開発及びルートを開発する。 ・観光客が、観光施設を安心して安全に利用できるよう適切に維持管理を行うとともに、時代のニーズに合った施設の整備と運営の工夫を行い、観光客への利便性の向上とリピーターの増加を図る。 ・観光関連事業者等との連携により、新たな魅力ある商品の開発に取り組む。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・アフターDCにおいて市内鑄工所やむらづくり団体等と連携し、天明鑄物体験会や飛駒和紙すき等の観光体験ツアーを実施した。 ・来場者が安全に施設を利用できるよう指定管理者と協議し、適切な修繕工事を実施した。また、指定管理制度を導入していない施設についても、点検を定期的に行い利便性を高めた。 ・観光関連事業者や近隣自治体（鹿沼市、栃木市、足利市）と連携し、新たな魅力ある商品の開発に取り組んだ。				
	利便性の高い観光施設の整備・維持管理	・観光客が、観光施設を安心して安全に利用できるように維持管理を行い、時代のニーズに合った施設の整備と観光案内看板の改修を促進し、観光客への利便性の向上を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【成果指標達成状況】 ・新たな体験ツアーの開発や既存の観光資源を組み合わせ合わせた体験ツアーの整備を実施した。 ・老朽化した観光施設等の改修を計画的かつ適切に対処した。				

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所	行政
	・平成26年に唐沢山城跡が国指定史跡となった。 ・国指定史跡の唐沢山城跡が平成29年に「続日本100名城」に選定された。 ・平成29年度に全国山城サミット佐野大会を開催した。 ・観光客のニーズが多様化している。 ・観光ボランティアガイドの利用希望が年々増加している。 ・平成28年にNHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、薬師堂が新たな観光スポットとなった。 ・国立情報学研究所などが推計した外出自粛率から、本県で緊急事態宣言が解除され1か月が経過した後も県民が休日の外出を控えている傾向が読み取ることができ、観光施設への誘客面で大きな影響を及ぼしている。	・おもてなしの心をもって、観光客へ観光情報の提供や観光スポットの案内をする。 ・外国人旅行者への理解を深める。	・おもてなしの心で観光客と接し、誘客とリピート率の向上を図る。 ・地域資源を活用する。	・「新しい生活様式」に沿った観光施設の受入環境の整備に努める。 ・観光スポットへのアクセス等の利便性の向上に努める。 ・観光ルートを設定する。 ・観光情報を拡充し、観光客の利便性の向上を図る。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
・新たな旅行企画商品として、例幣使同軸共同開発協議会（鹿沼市、栃木市、足利市、佐野市）において観光関連事業者と共同で、4市周遊体験ツアーの開発を図った。 ・ムスリムインバウンド推進事業においては、地域おこし協力隊員がインドネシア視察を行い、日本ツアーを検討中の現地キーパーソンと面会し、関係の強化を図るとともに、招へいを進めた。 ・観光施設の整備については、施設の老朽化に伴う修繕に積極的に取り組んだ。また、新たな観光案内看板の設置や既存の観光案内看板のリニューアルも行ったが、国際化対応率は5.3%に留まっている。 ・「魅力ある観光資源の開発と整備」部分の令和元年度決算額は約6,410万円で、平成30年度決算額に対して約413万円減少した。主な要因は、「あきやま学寮管理棟空調設備改修事業費」の皆減によるものである。	【令和2年度で解決する課題】 ・特になし。 【令和3年度以降にも引き継がれる課題】 ①安全で安心して快適に利用してもらえるような観光施設の維持・管理 ②新たな観光資源の開発 ③唐沢山城跡の全国的知名度アップ ④特産品・名産品等の観光資源化 ⑤体験型宿泊施設の体験メニュー等の充実と効果的なPR ⑥国際化対応看板を含む案内看板の整備 【令和3年度重点課題】 ⑦観光誘客に関するスポーツ、産業及び文化との連携	①観光客が、安心して安全に利用できるように、「新しい生活様式」に沿った観光施設の受入環境の整備に努め、利用向上に取り組む。 ②新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、ムスリム向けの情報発信や呼び込みを図る。 ③唐沢山城跡を全国に情報発信する。 ④「町会のお宝・自慢」の精査並びに特産品・名産品等の情報収集を図り、観光資源として整備していく。 ⑤観光客のニーズにあった体験メニューの充実と効果的なPRを図る。 ⑥本市の玄関口であるような効果的な場所に国際化対応看板を設置する。 ⑦スポーツ、産業及び文化分野との連携も考慮した新たな観光資源及びルートを開発する。